穏やかな春の日、長蛇の列を作って遊覧船パールクイーンに乗り込む観光客

広報させぼ

No.630

広報させぼ 編集長
「キューちゃん」

特集 佐世保と文学 ····2〜5p

今月の主な内容

●平成15年度当初予算、市政功労者表彰など ··6〜 9p
●市民の広場 ·····10〜11p
●イベント、施設だより ·····12〜13p
●歴史散歩、カレンダー、テレホンガイド ····22〜23p
●九じろうの取材日記 ·····24p

5月
2003 May

PUBLIC RELATIONS SASEBO

PUBLIC RELATIONS SASEBO

九じろうの取材日記

こどもエコクラブ全国フェスティバル in させぼ

■全国から53のこどもエコクラブが佐世保市に集合

「こどもエコクラブ」は、小・中学生が、環境について仲間と一緒に学んだことを、生活の中で実践していくクラブです。

各クラブが交流し、環境活動を披露する年に一回の「全国フェスティバル」が、3月29日と30日に、佐世保市で開催されました。

一般にも公開された30日には、市内や各都道府県の代表53クラブが西海パールシーリゾートに集い、開会・閉会式や九十九島体験ラリーなどに参加しました。

■キーワードを探して 4つの広場で体験ラリー

4つの広場を巡る体験ラリーの目的は、環境学習を進めながらこのフェスティバルのキーワード（ひ・と・し・ぜ・ん）を探すことでした。

参加者は、全国から寄せられた壁新聞の展示広場や市内で活動しているこどもエコクラブ、市民団体、企業などが設置したテントを巡り、一文字ずつ言葉を集めていきました。

■カノコユリ広場で体験と交流

県外の参加者に人気があったのは、リサイクル工作やカブトガニの折り紙コーナーなどでした。

使用済みペットボトルにマニキュアで花模様をペイントしていた福岡県のクラブ員に、その利用法を尋ねてみました。出来上がった作品を手にして満足そうな二人は「鉛筆立てとして再利用します」と笑顔で答えてくれました。

フィルム容器、ストロー、水を使って小鳥笛を作った愛媛県のクラブ員は、ストローの切り込みを工夫し、音色を楽しんでいました。

環境に配慮した電気自動車の試乗コーナーでは、佐世保高専生に操作法を習い、コースを走る参加者の姿が見られました。

■閉会式でエコ宣言と次回開催の仙台市へエコまる旗の継承

九十九島の海と緑を背景に開催されたフェスティバルは、キーワード「人と自然」を盛り込んだエコ宣言と、エコまる旗継承の後、夕日とともに無事、幕を閉じました。

編集長から「一言」

「広報させぼ」をさらに親しみやすく、統一感のある紙面にと、今月号からリニューアルしましたが、いかがでしたでしょうか。市政情報のほか、市民参加のページ、特集、取材記事など、内容も充実していきたいと思います。これからもよろしくお願いします。（I）

広報させぼ
5月1日発行
※「広報させぼ」は再生紙を使用しています。
佐世保市役所企画調整部秘書課広報係 TEL0956-24-1111 FAX25-2184
〒857-8585（市役所専用）長崎県佐世保市八幡町1-10 http://www.city.sasebo.nagasaki.jp 印刷／中央印刷有限会社